

若手会員の会 活動報告

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jws/welnet/>

(若手会員の会からのお知らせはホームページにも掲載しています)

第37回若手会員の会 運営委員会報告

若手会員の会運営委員会委員長 佐藤 裕 (東北大学)

Minutes of the 37th Meeting of the WELNET Steering Committee

去る9月20日、溶接学会全国大会の開催に合わせて、若手会員の会運営委員会を開催しました。本年上半期の会計報告、活動状況の確認、今後の活動計画について議論が行われました。以下に会員の皆様にも関連する事項についてご報告申し上げます。

日 時：平成19年9月20日(木) 12:10～13:00
場 所：信州大学工学部社会開発工学科西棟2階会議室
出席者：委員長、副委員長ほか運営委員および
オブザーバー1名 計11名

1. 基礎セミナー等の開催について

10月4日、三重大学工学部において、東海支部との共催で基礎セミナーを実施予定である旨、報告されました。今後、当会のアクティビティを維持するため、基礎セミナーや見学会をこれまで以上に積極的に実施しなければなりません。当会運営委員のタスク軽減や参加者数の増強等を踏まえれば、各地方支部との連携も必要であろうという認識で一致しました。次年度以降、皆様の所属する支部との行事共催の可能性について、ご検討いただく機会が増すことと思います。ご協力お願い申し上げます。

2. 第4回日韓若手研究者シンポジウムについて

韓国ソウルで実施された第1回シンポジウムを皮切りに、1年毎に日本、韓国で交互に開催されてきました。本シンポジウムは、日韓の若手研究者間の人的ならびに学術・技術的交流の一助となっているばかりでなく、韓国側からも継続について強い要望が出されていることから、2008年度に第4回シンポジウムの日本開催に向けて準備にとりかかることとなりました。日程、形式等については、決まり次第、随時ご連絡申し上げます。

3. グローバルネットワーク形成プロジェクトについて

これまで、特に東南アジア地域を対象とした国際的な情報交換や人的交流あるいは活動の場を形成するためのグローバルネットワーク形成プロジェクトが溶接学会に属する若手メンバー主体で活動中です。これまで、このプロジェクトに対して当会が全面的に支援しており、今年度は以下のシンポジウムが開催予定であることが報告されました。

国際溶接セミナー2007(2007年10月23～24日、
インドネシア・ジャカルタにて)

これまで、本プロジェクトに対して、当会から人的支援に加え、資金援助も行ってきましたが、日本溶接協会の中に、アジア溶接連盟(AWF)会議時に併催される若手研究者シンポジウムを主催するワーキンググループ(WG)が発足したため、当会からの資金援助は当面不要となる見通しであることが報告されました。しかし、同様の若手研究者シンポジウムは今後も継続されることが予想され、当会からの講師派遣等の人的援助は今後も必要となります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

4. 次回イブニングフォーラムについて

次回春季全国大会のイブニングフォーラムについては、継続審議事項となりました。

継続審議となった案件について、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。当会は「楽しく参加できる会」を目指しており、さらなる活動の活性化のため、運営委員会では常に新しい力の参加を求めています。

今後も若手会員の会に幅広いご協力・ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。